科目名	総合実習２							年度	2025
英語科目名	General Practice 2							学期	後期
学科・学年	デザイン科 プロダクトデザイン専攻 １年次	必／選	必	時間数	120	単位数	4	種別※	実習
担当教員	永岡真依	教員の実務経験		有	実務経験の職種	クラフト作家			

【科目の目的】

傘の柄と照明制作の2つの科目では、デザインの基礎となる「観察・分析・発想・表現」のスキルを身につけることがでる
・傘や照明の構造や機能、素材や形状を観察・分析することで、デザインの基礎を身につけることができる
・自分なりのデザインコンセプトを立て、スケッチやモデリングなどの実技を通して、アイデアを形にすることで、デザインの表現力を身につけることができる

【科目の概要】

・傘の柄のデザインでは、傘の基本的な構造や機能について学び、さまざまな素材や形状の傘の柄を観察し、分析する。傘の柄という具体的なテーマに取り組むことで、プロダクトデザイナーとしての視点を養うことができる。
・照明制作では、まず照明の基本的な構造や機能について学び、さまざまな素材や形状の照明を観察し分析する。

【到達目標】

A. 技術力/素材、支持体の特性を理解し、制作にあたって素材の工夫やアイデアの再現ができる

B. 表現力/課題条件に合わせた立体造形の表現ができるようになる

C. 知識力/立体構造や素材についての理解

D. 遂行力/制作時間と提出期日を考えてスケジュール管理と課題提出ができるようになる

E. 社会性/主体的に授業参加をして、自分の作品を言語化し人に説明するコミュニケーション力を身につける

【授業の注意点】

クラス＝デザイン制作室という認識をもってより良いデザイン制作に必要な学生間・教員と学生のコミュニケーションと制作プロセスを重視する。授業に出席するだけでなく、制作にあたっては各自で授業の事前準備と事後のフォローを前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。授業時数の４分の３以上出席しない者は課題提出とプレゼンテーションの実施ならびに評価を受けることができない。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック 評価	レベル５ 優れている	レベル４ よい	レベル３ ふつう	レベル2 あと少し	レベル１ 要努力
到達目標 A	素材を理解した上の制作の仕方や構造を理解し表現を丁寧にしている	素材を理解した上の制作の仕方や構造を理解し制作している	素材の工夫が必要と考えアイデアを立体表現している	素材の工夫が必要と考えているが、形として不十分	制作工程や素材の理解が不足している
到達目標 B	課題条件を考え表現内容を工夫し、素材を活かした制作をしている	課題条件に合わせた表現内容を工夫し、丁寧に制作している	課題条件に合わせた表現内容を工夫し、制作している	課題条件に合わせた表現内容を制作しているが、形になっていない	課題条件に合わせた表現内容についての理解が不足している
到達目標 C	立体構造や素材を理解し、描画材を活かして丁寧に制作している	立体構造や素材を理解し、丁寧に制作している	立体構造や素材を理解して、制作をしている	立体構造や素材を理解はしているが、制作への反映が不足している	立体構造や素材を理解と、制作への反映が不足している
到達目標 D	制作時間を考えて内容を工夫し、スケジュール管理と課題提出ができる	制作時間と提出期日を考えてスケジュール管理と課題提出ができる	提出期日を考えて締め切りに合わせて課題提出ができる	提出期日を考えて締め切りに合わせて課題提出ができない時がある	提出期日を考えて締め切りに合わせて課題提出ができない
到達目標 E	主体的に授業参加し、自分の作品を言語化して丁寧に説明できる	休まず授業参加し、自分の作品を言語化して説明することができる	自分の作品を言語化して説明することができる	自分の作品を言語化して説明することができない時がある	自分の作品を言語化して説明することができない

【教科書】

課題ごとに資料を用意する

【参考資料】

【成績の評価方法・評価基準】

課題80%　提出された課題を総合的に評価する
平常点20%　授業態度によって評価する

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名	総合実習２	年度	2025
英語表記	General Practice 2	学期	後期

回数	授業テーマ	各授業の目的		授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	造形のアイデアスケッチ	幾何形体をどのようにデザインしていくのかアイデア出しの練習	1	ガイダンス	総合実習２の目的を理解している	2	
			2	アイデアスケッチ	手を動かせるようになる		
			3	モノの考え方の柔軟性	モノの考え方の柔軟性を理解している		
2	傘の柄	傘の基本構造と機能に関する知識を身につける	1	傘の柄の素材や製造方法	傘の柄の基礎知識を身に着ける	2	
			2	傘の柄の構造や機能	デザイン思考でモノの見方を考えることができる		
			3	既存の傘の柄の収集	観察力・分析力を身に着ける		
3	傘の柄	アイデア出し 試作制作	1	デザインコンセプトの立案	問題点やターゲットユーザーに対してアプローチを理解する	2	
			2	デザインスケッチ	アイデア出しをスケッチで表現することができる		
			3	試作制作	サイズ検討やディテール確認の理解し制作することができる		
4	傘の柄	アイデア出し 試作制作	1	デザインコンセプトの立案	問題点やターゲットユーザーに対してのアプローチを考えることができる	2	
			2	デザインスケッチ	アイデア出しをスケッチで表現することができる		
			3	試作制作	サイズ検討やディテール確認の理解している		
5	傘の柄	アイデア出し 試作制作	1	傘の柄の材料選び	模型製作するうえでの素材を理解している	2	
			2	試作制作	サイズ検討やディテール確認の理解している		
			3	作品制作	様々な素材に触れて自身でデザインした作品を完成させる		
6	傘の柄	本番制作	1	作品制作	様々な素材に触れて自身でデザインした作品を完成させる	2	
			2	ボード制作	プレゼンボードを制作を行いプレゼン内容をまとめることができる		
7	傘の柄	制作の意図や造形の発表	1	作品発表	自身の作品を説明することができる	2	
			2	作品提出	作品を提出することができる		
8	照明制作	電気の種類や使用目的等の理解	1	光電の種類	光電の種類や使用目的を知る	2	
			2	市販の照明の素材	販売されている素材の種類についての理解		
			3	スケッチ	アイデア出しをスケッチで表現することができる		
9	照明制作	STP分析の理解とターゲットユーザーに対してのアプローチ	1	STP分析	照明の市場を理解し自身がデザインするターゲット層を理解している	2	
			2	スケッチ	アイデア出しをスケッチで表現することができる		
10	照明制作	アイデア出し 試作制作	1	スケッチ	アイデア出しをスケッチで表現することができる	2	
			2	試作制作	サイズ検討やディテール確認の理解している		
			3	素材検討	模型製作するうえでの素材を理解している		
11	照明制作	アイデア出し 試作制作	1	スケッチ	アイデア出しをスケッチで表現することができる	2	
			2	試作制作	サイズ検討やディテール確認の理解している		
			3	素材検討	模型製作するうえでの素材を理解している		
12	照明制作	アイデア出し 試作制作	1	スケッチ	アイデア出しをスケッチで表現することができる	2	
			2	試作制作	サイズ検討やディテール確認の理解している		
			3	素材検討	模型製作するうえでの素材を理解している		
13	照明制作	試作制作 本番制作 ボード制作	1	作品制作	様々な素材に触れて自身でデザインした作品を完成させる	2	
			2	ボード制作	プレゼンボードを制作を行いプレゼン内容をまとめることができる		
14	照明制作	本番制作 ボード制作	1	作品制作	様々な素材に触れて自身でデザインした作品を完成させる	2	
			2	ボード制作	プレゼンボードを制作を行いプレゼン内容をまとめることができる		
15	照明制作	制作の意図や造形の発表	1	作品発表	自身の作品を説明することができる	2	
			2	作品提出	作品を提出することができる		

評価方法：1.小テスト、2.パフォーマンス評価、3.その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等